

# EXTREME SHOGI

エクストリーム将棋



## セット内容

将棋盤10枚 将棋駒20個  
 駒カード6枚 盤カード10枚 ついたて1組(ボード・足2個)  
 ライフマーカー 青・赤 各3個 説明書1部(本紙)

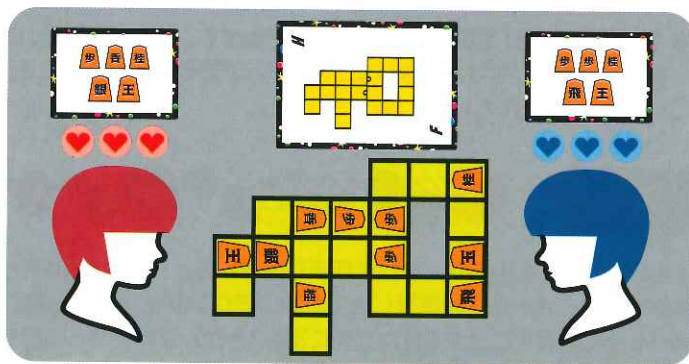
王・玉・飛・角:各1個  
 金・銀:各2個 桂:3個  
 香・歩:各4個 予備:1個

## 遊び方

- 1 先手・後手を決めます。将棋経験の浅い方が先手になると良いでしょう。  
2ラウンド以降は直前に負けたプレイヤーが先手になります。
- 2 各プレイヤーは同じ色のライフマーカーを3個取り、表(色の付いている方)を上にして相手に見えるように、手元に置きます。
- 3 盤カードを裏向きでシャッフルし、お互いに1枚ずつ引きます。引いたカードと同じ形の将棋盤を取り、それらを接続部分でつなぎます。引いた盤カードはお互いに見えるように置きます。
- 4 駒カードを裏向きでシャッフルし、お互いに1枚ずつ引きます。引いたカードと同じ将棋駒を手元に置きます。引いた駒カードはお互いに見えるよう盤カードの隣に置いておきます。  
※駒カードの王は、先手は「玉」を後手は「王」を使います。
- 5 ついたてを組み立て、将棋盤の接続部分に沿って立て、相手から自分の将棋盤が見えないようにします。その後、5つの駒すべてを自分の将棋盤に自由に配置します。相手の盤の形や駒の種類をよく考えて置きましょう。



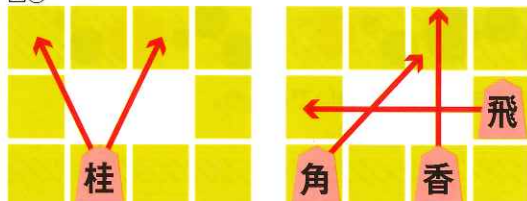
- 6 ついたてを外して、勝負開始!  
先手から交互に駒を動かし、相手の王(玉)駒を取りにいきます。  
※駒の動かし方や詳しいルールは裏面を参照してください。



## ゲームのルール

駒は、種類ごとに一手で動ける範囲が決まっています。(図①参照) 桂は、将棋盤に穴が空いていても移動先のマスがあれば移動できますが、飛・角・香は空いたマスの上を通過できません。(図②参照)

図②

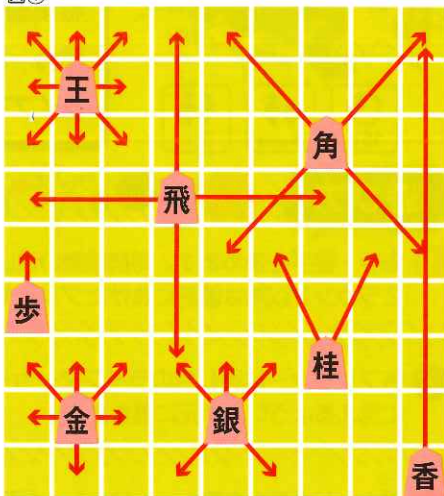


通過できる

通過できない

相手の駒のあるマスに自分の駒を進めた時、相手の駒を取り除き、自分の駒を置くことができます。この時、取り除いた駒を自分の駒にできます。

図①



取った駒は自分の順番の時、盤面の好きなところへ置く事ができます。

(この作業で一手となります。)

但し、将棋盤の形により、動けない場所には置くことはできません、また二歩(縦の列に自分の歩が2つあること)・打ち歩詰め(最後の一手として歩を置くこと)はできません。(図③参照)

図③



前に進めない

二歩

打ち歩詰め

王(玉)と金以外の駒は、相手の将棋盤に入った時、相手の将棋盤で移動した時、相手の将棋盤から出た時に、昇格して駒の動かし方を変えることができます。これを「成る」と言います。成るときは、その駒を裏返します。成るのは自由ですが、一度成ったら元の駒にはもどれません。歩・銀・桂・香が成ると、それぞれ金の動き方になります。角・飛が成ると、元の動きに王将の動き方が追加されます。

次の一手で王(玉)を取れるところに駒を動かすことを、王手といいます。王手された側は、次の一手でこれを防がなければなりません。王手が防ぎきれなくなると、その時点で負けとなります。これを「詰み」といいます。

## 決着

相手の王(玉)を取るか、または相手が降参すると1ラウンド勝利となります。負けたプレイヤーはライフマーカーを1枚裏返します。次のラウンドを「遊び方③」から始め、相手のライフマーカーを全て裏返すことができた(先に3勝できた)プレイヤーの勝ちとなります。